

## ①個別データシート

種類 製品

英名 corn oil

整理番号: JP305043

分類 食料品

和名 とうもろこし(コーン)油

・GHG排出量 2.72E-01 kg-CO2e/kg

・情報源分類 その他調査データ

・技術記述子 とうもろこし胚芽原料のとうもろこし油

・技術の内容と機能 (とうもろこし胚芽)～とうもろこし油生産  
主要原材料:コーンジャーム(とうもろこし胚芽)・情報源 主要産出物:とうもろこし油  
・コーンジャームを原料にするととうもろこし油生産のプロセスを対象範囲にしている。  
・コーンジャームはコーンスターチ生産の副製品として得られる。J-オイルミルズ:“CSR報告書”, (2008)  
日清オイリオグループ:“CSR報告書”(2008)  
農林水産省食品産業振興課:“我が国の油脂事情”, (2007)

## ・データ作成者コメント

・コーンジャームからの歩留まりを50%に設定した。  
・エネルギー、水は、JオイルミルズCSR報告書2008、日清オイリオグループCSR報告書2008、を参考にして菜種油に準じて計上した。(2社の植物油脂搾油量の合計は、全国の約70%になる。)

## ・適用範囲

日本における、とうもろこし油の平均的な値である。  
コーンジャーム(とうもろこし胚芽)を原料をして搾油精製したのがとうもろこし油である。  
コーンジャームはコーンスターチ製造時の共製品として得られる。

## ・システム境界

資源採取から製品の製造までを範囲とする。製品の日本国内における輸送を含まない。包装材を含まない。容器充填を含まない。輸送のための梱包材を含まない。排水処理を含む。産廃処理を含まない。

## ・配分

主製品に比べ経済価値が低いので、コーン胚芽かすには配分しない。

## ・GHG排出量の要因

主なGHG排出源は、コーンジャーム由来のCO2(化石資源由来)、熱エネルギー、都市ガス13A(都市ガス)由来のCO2(化石資源由来)、である。

## ②入出力データ

区分	フロー区分	品目名	連鎖した品目名	公開整理番号	数値	単位	備考	
ユーティリティ	中間フロー	入力	海水	海水		6.47E-03	m3	
ユーティリティ	中間フロー	入力	上水・工業用水	工業用水道		3.76E-03	m3	
ユーティリティ	中間フロー	入力	購入電力	電力,公共	JP120001	7.66E-02	kWh	
ユーティリティ	中間フロー	入力	LNG	燃焼・LNG	JP104005	1.75E-04	kg	
ユーティリティ	中間フロー	入力	A 重 油	燃焼・A重油	JP111016	1.43E-03	L	
ユーティリティ	中間フロー	入力	C 重 油	燃焼・C重油	JP111022	1.81E-02	L	
ユーティリティ	中間フロー	入力	都市ガス	燃焼・都市ガス13A	JP121002	5.49E-02	Nm3	
資源/原材料	中間フロー	入力	コーンジャーム	コーンジャーム		2.00E+00	kg	とうもろこしの胚芽
水圏排出物	基本フロー	出力	処理済水			6.13E-06	kg	海水を含む
廃棄物	中間フロー	出力	コーン胚芽かす(飼料)	再生利用品(動植物性残渣)	*	1.00E+00	kg	配分しない。飼料となる。
製品	中間フロー	出力	とうもろこし(コーン)油	とうもろこし(コーン)油	JP305043	1.00E+00	kg	